

親子ら遊具色塗り「完成楽しみ」舞鶴

舞鶴市浜の市子育て交流施設「あそびあむ」に新たに登場する予定の遊具の色塗りをする

ワークシヨップが28日、同施設であった。子どもたちが木の枠や板にペンキを塗った。

同施設と舞鶴高専建設システム工学科尾上亮介教授の研究室が実施した。同研究室の5年守本希梨子さん(20)の卒業研究で、遊び方を子ども自身が考える遊具を作るのが狙い。

小学生の親子や市民グループのメンバーらが、木の枠や板の部品にはけて白や青のペンキを塗った。来月に組み立て、格子の中をくぐったり、板に登った

りできる縦横約5段、高さ約60cmの遊具が完成する。

新舞鶴小4年濱田優華さん(10)は「初めてのペンキ塗りで、腰



が痛いけど楽しかった。完成が楽しみ」と笑顔だった。

(加藤華江)

新しい遊具の部材になる木の板にペンキを塗る親子たち(舞鶴市浜・市子育て交流施設「あそびあむ」)